

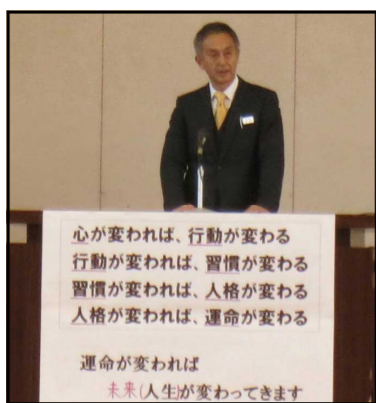
御陵の風



校長 西岡 浩一 (文責:教頭 藤井 浩彦)

御陵中「校訓」

◆3学期始業式での校長の話



平成最後のお正月、どのように過ごしましたか?私にとっては、みなさんが事故なく過ごせたことが何よりです。

今日、体育館に入場するときの態度、素晴らしかったです。その前の掃除の時間も隅々まで気を配り黙々と取り組んでいる姿、本当に立派です。また、今朝の校門でのあいさつもきちんと立ち止まって気持ちのいい挨拶をしてくれました。中には、「おはようございます」のあとに「明けましておめでとうございます」と付け加えてくれる人もいて…本当に気持ちのいいスタートとなりました。

さて、年が明け「今年の目標は…」と目標を立てた人がたくさんいると思います。「過去」を変えることはできませんが、「自分と自分の未来」を変えることはできます。今の一瞬もすぐに「過去」になっていきます。何もしなければ何も変わらないと思いますが、何かを変えることで「未来」が変わります。今日はみなさんに、元プロ野球選手、松井秀喜さんの「座右の銘」でもある言葉を紹介します。

心が変われば、態度が変わる。態度が変われば、行動が変わる。
行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。
人格が変われば、運命が変わる。運命が変われば、未来(人生)が変わる。

「心」の持ちようを変え、「行動」・「習慣」を変えていくことで「未来、人生」が変わっていくのです。「未来」はこれからくる時間ですから、「今」の小さな積み重ねの先にあります。今、全力を尽くすことで「未来」が変わっていきます。今こそ、様々なことに挑戦し、努力し、素晴らしい未来へと変えていってください。今年がみなさんにとって素晴らしい年になるように願っています。

「心が変われば…」は、とても有名な言葉です。野村克也さんの「野村ノート」という著書にも載っています。もともとは、ヒンズー教の教えだとか、心理学者のウィリアム・ジェイムズさんという人の言葉とも言われています。この言葉は、何事も大切なことは「心」であるということだと思えます。そして最終的には「すべては自分次第」ということです。このことを前向きにとらえ、「心の持ちよう」でどんな困難なことでも乗り越えることができる!すべては自分自身で変えることができる!ということではないでしょうか。

3学期が始まって2週間が過ぎました。子ども達一人一人が、今年立てた目標に向かって、「努力の種」を着実に育てていることを信じています。

◆今後の行事予定

月	日	曜	行事	月	日	曜	行事
2	1	金	私立高校前期入試 学力診断テスト(1・2年生)	3	1	金	新入生物品販売 PTA納会
	7	木	高校一日体験(2年生)		6	水	公立高校一般入試
	12	火	おはよう運動[14日まで]		7	木	個性重視の特別試験 3年生同窓会入会式・修了式
	14	木	期末考査		8	金	第36回卒業証書授与式
	15	金	期末考査		12	火	PTA本部役員会
	19	火	学校運営協議会		14	木	2年生進路説明会
2	21	木	学校保健委員会	15	金	生徒総会	
	27	水	PTA本部役員会	22	金	修了式	
			PTA予算審議委員会				

◆来年度1学期始業式:4月8日(月) 入学式:4月10日(水)

「なりたい自分」を持つこと

現在、スポーツ界では、多くの日本人選手が世界で活躍しています。昨年、大坂なおみ選手が全米オープンで優勝したテニス界もそうです。今日は同じテニス界で、大坂選手よりも前から活躍している錦織圭選手にスポットを当ててみたいと思います。

錦織圭選手プロフィール

- ◆1989年12月29日生まれ(29歳) 島根県松江市出身 身長178cm 血液型A型
- ◆5歳でテニスを始める。2001年5月全国選抜ジュニア選手権優勝、7月全国小学生大会優勝、8月全日本ジュニア12歳以下で優勝し、全国制覇3冠を達成 修造チャレンジにも参加
- ◆2003年 フロリダのIMGアカデミーにテニス留学
- ◆2007年 ジャパンオープンでプロ転向
- ◆2008年 デルレイビーチ国際選手権優勝・全米オープンベスト16進出
ATPワールドツアー新人賞受賞
- ◆2012年 全豪オープンベスト8進出 ◆2014年 世界ランク9位全米オープン準優勝
- ◆2015年 世界ランク4位 ◆2016年 リオオリンピック3位

上のプロフィールは、ほんの一部です。ここに書かれていない数々の大会で輝かしい成績を収めています。現在、全豪オープンではベスト8に進出し更なる高みに挑んでいるところです。

中学生で親元を離れてアメリカへテニス留学…想像しただけでもすごい勇気と決意があったのだろうと思います。そして、アメリカへ行けば成功するわけではない厳しい世界に、錦織選手の思いを受け止め、送り出したご両親の決断も本当にすごいと思います。アメリカでは、朝の5時半から夕方6時くらいまで、学校の授業を受けるとき以外はひたすら練習だったそうです。一緒にアメリカへ行った友達「早く日本へ帰りたい」と泣き言を言っていたにもかかわらず、彼は一度も「帰りたい」と言わなかったとのこと。留学して3年目、黙々と努力を積み重ね力をつけた彼に専属コーチをつけてもらいプロの道へと進んだのです。

みなさんよくご存じの錦織選手ですが、数々の心に響く言葉を残しています。いくつか紹介します。

- 誰かを越すとか、誰かに抜かれるとかではなく自分ができる最大の努力をする
- プレッシャーがない人生より退屈なものはない
- 人間居心地が悪いところにいる方が成長する
- よくメンタルが強いよねーと言われますが僕は自分が強いと思ったことはないですし、強いとは何なのかもよくわかりません
- この負けから学んだことがたくさんあったと思います
- 自分ができることを模索して考えることに意味がある
- 人間の本当の強さは何度転んでも起き上がれること。どんな状況になっても人は必ずそこから立ち上がることができる
- 過去のことを振り返ってばかりいたんですが、心と目の前の目標に集中したら嫌なことは消えていきました
- (ネガティブになっているとき)自分の限界に挑戦する旅であり、自分の人生をちゃんと楽しもうと、ふと思いました。人の為に生きるのはテニス以外でできるし、テニスしてる時だけは自分の為に限界まで頑張ってみよう。まわりの目を気にするのではなく、自分の道をまっすぐ進めるそんな人間になりたいです

私は時々、錦織選手の試合をテレビで観るのですが、本当に粘り強い試合で観ていて勇気が湧いてきます。魂のこもった試合をする錦織選手を尊敬します。あんな試合ができるのは、上のような「心持ち」があるからだと思えます。

錦織選手を始め活躍している選手を見ると、私たちはややもすると「だって能力が違うもん」「〇〇は天才やもん」と簡単に片付けてしまいがちですが、ある方がこう言っていました。「彼らが天才だとするならば、あんなに血のにじむような練習をしなくていいじゃないか?天才じゃないからひたすら練習するんだ。もし、天才という言葉を使うなら『努力の天才』だ!」と。

そう、彼らから学ぶことは、「心が変われば…」にもつながっているのかもしれない。「心の持ちよう」と「なりたい自分」を明確に持つことで行動(努力)がはじまる。自分の弱さをも認め、ひたむきに頑張っているからこそ、彼らの今の活躍があるのだと思うのです。

天才にはなれなくても『努力の天才』にならることができる…そう思う私です。